

◆芸術の秋 南丹美術工芸パートナースクール事業

完成した作品は、第5回南丹美術工芸教育展に出品されます。



和知小学校 陶芸に挑戦！

9月7日(水)、22日(木)に5年生20名が京都伝統工芸大学から講師の先生をお迎えして”陶芸”に挑戦しました。

最初に、粘土のこね方やろくろの使い方を教わった後、講師の先生の指導を受けながら、あらかじめ考えていた個性あふれるデザインのお茶碗や湯飲みや急須づくりを行いました。

吉川小学校 オリジナル色紙アート、紙版画に挑戦！

9月29日(木)、30日(金)に1～3年生25名が京都府立亀岡高等学校Ⅲ類芸術系の生徒38名と一緒に”オリジナル色紙アート”、”紙版画”に挑戦しました。

1、2年生は初めに絵の具でカラフルな色紙をつくり、乾かしたあと、手で様々な大きさにちぎり、そのちぎった色紙を使って、黒の大きなキャンバスに”くま”や”うさぎ”、”ペンギン”などを描いていきました。

3年生は運動会で踊った”よっちょれ”のお気に入りの場面やそのポーズをしているときの自分の気持ちを色紙や毛糸などを貼り合わせて表現しました。

高校生は児童の考えや思いを上手く引き出し、専門性を活かしたアドバイスをし、作品づくりを手伝っていました。



◆第5回 南丹美術工芸教育展を開催します！

南丹地区の公立保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の幼児、児童、生徒及び京都伝統工芸大学の学生による、創造性に満ちあふれた意欲的な作品約1,200点を平成23年10月29日(土)から11月6日(日)まで南丹市国際交流会館で展示します。

また、本年度は、各校(園)の幼児・児童・生徒がふるさと京都丹波の文化や芸能、自然、史跡等を題材に描いた作品「京都丹波・ふるさと絵巻100選」の展示も行います。



◆「京都丹波(南丹)の教育」推進プランを策定しました！(裏面に掲載)

京都府教育委員会が本年1月に策定しました「京都府教育振興プラン」を具現化するため、平成23年度「京都丹波(南丹)の教育」推進プランを策定しました。

南丹教育局では、「京都府教育振興プラン」における京都府の教育理念を実現していくための10の重点目標にリンクさせて様々な事業を展開し、子どもたちに「**展望する力**」「**つながる力**」「**挑戦する力**」の3つの力をはぐくむことにより、子どもたちが生涯にわたって力強く歩み続けることのできる「**新たな京都丹波の教育の創造**」を目指してまいります。

学校、家庭、地域社会、行政が協働し、社会総がかりで、すべての子どもが「**包み込まれているという感覚**」を実感できるよう取組を進めるとともに、この推進プランを実施・検証することにより、**目指す人間像**により近づくよう取組を進めてまいります。